

体育会表彰式 12団体・85人を表彰

最優秀団体賞 バスケットボール部(男子)

04年度(平16)に優秀な成績を収めた団体・個人を表彰する第44回体育会表彰式・祝賀会(体育会本部主催)が3月19日、東京・千代田区のホテルグランドパレスで開催された(表彰者は15面に)。

今年度は12団体及び85人を表彰。最優秀団体賞には全日本学生選手権で準優勝、関東大学選手権で優勝を果たしたバスケットボール部(男子)が、最優秀選手賞には天皇杯4連覇、学生4冠などを達成したレスリング部の田中章仁(経済4・三井高)が選ばれた。

(久我 智也・文2)



清澤優勝、安田が2位 全日本スキー・女子スーパー大回転

男子は佐藤が3位入賞

2月17日に長野県八方尾根スキー場で、全日本スキー選手権が行われ、女子スーパー大回転で清澤恵美子(経営3・歌志内高)が初優勝、安田かずみ(経営1・歌志内高)が2位とワンツーフィニッシュ。男子スーパー大回転でも佐藤栄一(商4・糸魚川白嶺高)が2位と0.4秒差で3位入賞を果たした。

また、翌日には同会場でFIS FAR EAST CUPジャパンシリーズ白馬大会が行われ、連日のレースによる疲れも見せず、女子スーパー大回転で清澤が3位、安田が4位入賞。男子スーパー大回転でも佐藤が3位、清野大輔(経営2・日大山形高)が8位と健闘した。

(澤田 和輝・法1)

出島が3年連続優勝

国民体育大会冬季大会 スピードスケート5000メートル

国民体育大会冬季大会のスケート競技が2月4日、山梨県の富士急セイコオーバルスケート場で行われ、出島茂幸(商4・釧路商高＝神奈川県代表)が5000メートルで3年連続優勝という輝かしい成績を取めた。「今年も狙っていた。勝ててうれしいし、自信にもなった」と語った。

(澤田 和輝・法1)

この人 春場所初土俵で一番出世！

中西健二くん(経営4)



相撲部の中西健二(経営4)が角界入りを果たし、2月から阿武松部屋で稽古に励んでいる。

初土俵となった春場所(3/13～27、大阪府立体育館)では、前相撲で2勝を挙げ、先輩片山関(阿武松部屋、東十両五枚目＝平14商)の『専修大学』の化粧回しを締め、一番出世披露を行うなど、早くも期待に応える活躍を見せた。

186センチ、160キロと恵まれた体格の中西は、昨年9月の東日本学生個人体重別選手権無差別級優勝など輝かしい成績を残してきた。2月3日に行われた入門記者会見では「先輩の片山関を目標にしたい。不安よりも楽しみの方が強い。出来るだけ早く関取に昇進出来るように頑張ります」と力強く語った。

大野孝弘監督は「四つ相撲を得意としているが、それにこだわらず、立ち合いから積極的に攻めていってほしい」とアドバイスを送る。「大きな可能性を感じている」と話す阿武松親方も「本格的な四つ相撲が魅力だが、心を鍛え、もっと攻撃力をつけてほしい」と期待を寄せている。

(中川 泉穂・文1)

はまっこふれあいスクール

相撲部の学生が小学生を指導



今年で2回目となる小学生を対象とした「はまっこふれあいスクール」(1月15日、横浜市立すすきの小学校)の相撲教室に相撲部の1、2年次生5人が講師として招かれ、大勢の参加者に対し、熱心に指導。「ちびっ子、との触れ合いを楽しんだ＝写真。

国際大会出場選手の結果

春期休暇中には多くの選手たちが国際大会に挑戦し、日本代表として健闘した。

【アメリカンフットボール】2月2日から5日まで、米国のジャクソンビルで行われたNFLグローバルジュニアチャンピオンシップ・U-19世界大会に村田隼平(経済1・日大三高=LB)、立花隆雄(法1・崇徳高=RB)、横尾拓二(法1・日田高=DB)、赤木雅英(経営1・崇徳高=DB)の4人が出場。4位入賞に貢献し、村田がベストイレブンに選ばれた。

【卓球】サフィールオープン国際大会(2月25日～27日、スウェーデン・オレボロ市)で、杉田早苗(商1・四天王寺高)がシングルスC1クラスで優勝、エリートクラスで3位。原雅彦(商2・青森山田高)もシングルスC1クラス、U-20クラスでともに2位と、好成績を残した。

【レスリング】田中章仁(経済4・三井高=フリー120kg)、稲葉泰弘(経営1・霞ヶ浦高=フリー55kg級)が、ヤシヤドク国際大会(2/18～20、トルコ共和国・サムスン市)、ダンコロフ国際大会(3/5, 6、ブルガリア共和国・ソフィア市)に出場。ヤシヤドク大会では田中が3位。ダンコロフ大会では田中、稲葉ともに5位入賞を果たした。

【ニュース専修2005年3月号16面】